



新入生が米工での学校生活をスタートしました。この3年間はコロナウイルス感染症対策として、対面での活動をリモートで実施する場面が多くありました。しかし、今年は制限が緩和されたことから対面での活動を実施しています。

## 新入生が米工デビュー！



対面式

入学式翌日、最初の行事として新入生と上級生との対面式を行いました。迎える上級生も初めての対面式です。新入生の代表挨拶は堂々としており、新入生たちの活躍を期待させてくれました。

最初の週はその他にもクラブ紹介、礼法指導、校歌練習、非行防止教室、着こなしセミナー、図書オリエンテーション、写真撮影、身体測定、講話（教務部・進路指導部・教育相談部・生徒指導部）と授業以外の行事が盛りだくさんです。まずは米工生としてのスタートに向けて、米工のことをしっかり把握してください。

様々な行事に参加する新入生の表情は緊張と初々しさに満ちあふれています。ところで、話の内容を覚えていますか。人の脳は忘れるようにできていますから、何もしないと本当に忘れてしまいます。これから社会に出て行くための準備として、メモを取り、聞いたことを忘れない、少なくとも記録しておくことは大切です。上級生にも伝えてきましたが、1年生のみなさんもメモ帳を持ち、大切なことはすぐにメモをする習慣をつけておきましょう。メモの習慣を今から身につけておくことで学校生活も就職してからも間違いなく役に立ちます。（令和3年5月10日発行米工MAKERS第5号参照）

さて、入学2週目からは授業が中心となります。普通科高校では2年生や3年生で学ぶ内容が、専門教科の授業ではいきなり出てくることがあります。この問題はこの公式で対応する、というような暗記による個別の知識として学ぶのではなく、物事の道理を考え、なぜそうなるのか考えてください。覚えなくても自然と導き出せる公式がたくさんあることに気づきます。ネット社会では公式を覚えてなくても必要なときに検索すれば事足ります。なぜその公式が成り立つのかを考えていく力が、将来、未知なる課題に対応する力となります。働き出すと正解のない課題がたくさんあります。まずは答えが分かっている問題を教材にして、その解き方を繰り返し考え、将来に向けた力を養ってください。専門教科は全員が高校からのスタートです。ここだからこそ学べる専門教科にみんなでワクワクしながら取り組んで欲しいと思います。その先にかっこいいプロの技術者の姿が見えませんか。

校長 松川 明義



【行事予定】4月17日(月)：クラブ一斉会議 18日(火)：心電図検査(1年)

19日(水)・20日(木)：尿検査

今週末の大会等：硬式野球(布施) ソフトテニス(倉吉) 山岳(鳥取) テニス(東山)

バレー(米子)



米工HP